

橋梁修繕工事（大山1号橋・大山2号橋）

事業概要書

■ 概要

本事業は、平成24年度に策定、令和元年度に更新した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の安全性の確保及び効率的な修繕を行うものです。

令和3年度に実施した点検結果により、補修が必要となった支承の交換、主桁の塗装及び各橋台・橋脚の補修を行います。

■ 大山1号橋

① 橋梁の諸元

名称	大山1号橋（オヤマイゴウキョウ）
路線名	小菅小家台法華塚線（コサゲコヤノダイホウカヅカヅ）
位置	成田市小菅地先
橋長	95.90m
幅員	有効幅員 6.00m
架設年	1972年（昭和47年）築52年
構造	鋼鈹桁橋
添架施設 （管理者）	電線管（東京電力パワーグリッド株式会社） 電話ケーブル（NTTインフラネット株式会社）



写真-1 大山1号橋（全景）

② 主な損傷状況と修繕内容

損傷部位	主な損傷状況	修繕内容
橋桁（写真-2）	腐食・防食機能の劣化	再塗装工
橋台及び橋脚（写真-3）	剥離・鉄筋露出	断面修復工・ひび割れ補修工
支承（写真-4）	支承部の機能障害・破断	支承取替工
高欄（写真-5）	剥離・鉄筋露出	断面修復工・剥落防止工



写真-2



写真-3



写真-4



写真-5

